

もったいない! 未来のために
母の視点で **よりも** で見直し
次世代に借金、リスクを残さない

県議会議員 西村久子 県政報告

第55号

発行 西村久子

彦根市甲崎町
TEL・FAX 43-4700

Eメール hisako@country-farm.net
ブログ http://nishimura-hisako.net/



今日よりも明日

蛍の光 窓の雪…卒業式、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校…厳しい寒さから、ほんの少し春の訪れを感じる頃、今年もたくさんのかわいい、元気な、そしてたくましく成長した若者が学び舎を巣立っていきました。ご案内をいただく中から、今年は彦根東高校卒業式に参列。ひこね市文化プラザの大ホール、さすが東高の厳粛な式典の終わりは「蛍の光」、ジーンと胸の熱くなるのを覚えました。



「蛍の光」、「仰げば尊し」は、卒業式には定番と思ってきましたが、近年歌われる学校は少ないです。歌詞が時代背景に合わないのでしょうか、今風に「巣立ち」を合唱する姿も感動ですが、そこはそれ、万感胸に迫る「蛍のひかり」「仰げば尊し」は歌い継いでいただきたいものです。

県議にさせていただいてから、私にできることとして県政報告を出し続けてきました。小さな字で読み辛かったと思います。どこかに、「今日よりも明日」を書き続けているおばさんを想像していただけたら感謝です。特段勉強ができるわけではなく、ごく普通の女性が政治に参加する意義を、責任として考え続けてきました。人口減少、虐待、空家、孤独等々、課題はいっぱいですが、暮らしの声をこれからも訴え続けます。

地方創生 …国を挙げての大合唱…私はこんなことを考えています…(ブログより抜粋)

南高北低を地方創生で覆そう 2015-02-06

南高北低・・・滋賀の実態、人口も、経済も、当然諸々の環境整備も…北部に住む人々はひしひしと感じていた。

8年前、県議選に初めて挑戦した時、私は南高北低の解消を訴えていた。

今、地方創生が声高に叫ばれている。一つの大きなチャンスがやってきた。

地方創生、人口の大都会集中を地方の知恵出しによって地域振興策を国に申請し、支援を得て地域を活性化、地方の人口を増加させようというもの。安倍政権の一大目玉、景気回復を地方に実感できるよう国が支援するから、「さあ、がんばれ・・・」というもののようだ。

南高北低、人々の視線は常に南を見ていた。滋賀県の南部だけでなく、京都・大阪に…この大都会の通勤圏が土地代の安い交通便利の滋賀県南部であった。今もその状況は変わらずに、滋賀も人口減少局面に入ったというものの南高状態は以前のまま。

…だったら、人々の視線を北に向ければいい、岐阜や名古屋に…いわゆる中京圏、ここも経済活動の強い地域、気象も冬を感じさせない程の地域、滋賀の北部から東海に向けてアクションを起こせば…と思うのだ。

東海の人々の視線が歴史や自然豊かな滋賀県北部に向いてくれるにはどうするか？そこは近江商人、知恵の出どころ…こんなことを思うと夢を追うのが楽しくなってきた。・・・北高に向けて、明日を語ろう…

田舎暮らし 2015-02-07

本日の中日新聞滋賀版に、田舎暮らしのタイトルで県が主催した体験ツアーが紹介されていた。高島市、彦根市・多賀町、米原市と3回にわたって実施したがいずれも20人を募集のところ、特に湖東と湖北は定員の倍近い35人もの応募があったという。湖東と高島は大阪発、湖北は名古屋発とされて田舎暮らしの体験を多くの若い世代が興味深く参加されたとある。

昨日に続くが、ここで、大阪発を名古屋発に置き換えて湖東エリアを見た場合どうなるか、

大阪から、あるいは名古屋から、その中間点は…距離的には名古屋・大阪間は190km。中間地点は宇曾川の鉄橋。JR彦根駅は名古屋の方に10km近いことになる。

当然のことながら、大阪より南に向けての電車(赤穂・姫路)は米原から快速も出ている。

しかし、名古屋方面に向けての直通電車はなく、米原で乗り換えを余儀なくされている。…こここのところを乗り換えなく直通にすることによって、交通事情は大きく変わるし、人の行き来も認識がもっと北に向いて身近に感じることも間違いなし、…

名古屋、あるいはそれ以北の人であっても直通電車があれば彦根・能登川辺りまでその居住圏は様変わりするだろう。

大阪まで通勤の人がいかに多いか、距離からも料金的にも通勤可能であることは間違いない。是非、名古屋発の彦根・多賀(湖東)向け田舎暮らし体験ツアーを再度企画してほしいものだ。県に頼らずとも、彦根独自でやるのもより意欲が感じられて頼もしいと思うのだが、…ひこにゃんの出迎えを受ければ子供たちは大喜びすることだろう…。どうかして、湖東湖北に若い賑わいを生み出したいと思う。

直通列車

2015-02-08

昨夜、遺族会の会合に出席しての帰り、大津より間に合った電車が、なんと大垣行きだった。それも普通電車…これに乗ると近江長岡も米原乗り換えでなく、北の方はラッキーであった。で、快速電車ならなおよかったのに…

電車の中で一緒に乗り合わせた会の方々、三日月知事の列車運行に対する力の偉大なることが話題になった。

先ずは湖西線の暴風壁の延伸。記憶に新しいところだ。また、以前に国鉄出身の川島元長浜市長が、米原乗り換えでなく長浜へ直通の電車を取り入れた効果は、長浜の繁栄に大きく貢献したことも歴然としている。

これらのことを重ね合わせると、米原乗継でない滋賀と東海向けの直通電車、国鉄に縁の深い三日月知事なれば可能ではないか…と期待がいよいよ大きく膨らんだ。

名古屋・大阪の中間駅近くから、北向の直通電車が、通勤通学の時間帯に何本か走れば、もっと湖東湖北の暮らしは変えられる事だろう…無茶な発想に思えないほどに、いま私は夢を掻き立てているのだが…。

大勢のご参加有難うございました。 2015-02-14

上野賢一郎立春のつどい、彦根会場は320名余、会場溢れんばかりにお集いいただき、立春の集いが開けてよかった…と心底思いました。ご支援いただいた多くの皆様のおかげで、加えて今も国土交通大臣政務官としてのお役目をもらい、上野さんには頑張っていたきたい。ご支援本当に有難うございました。自民党代議士ゼロの時代を経験した私にとっては、こうした集いの開けることはひとしおの喜びです。

お祝いのごあいさつで、上野代議士にやってもらいたいこととして、滋賀の南高北低を是正し、湖東湖北に活力を…名古屋・大阪の中間点、彦根エリアから、東海に向けての直通快速電車の運行を、国鉄出身の三日月知事と、上野国土交通大臣政務官の連携で稀有なるチャンスとして実現したい…人も物流も、定住者も、通勤、通学も…と訴えた。反響は??? これこそ、地方創生と思うのだが…。



子育て支援での地方創生

産婆さん

2015-02-15

私達の生まれたころ、お産は全て家で産婆さんが取り仕切っていただいた。小学に行く頃であっても、「あのおばちゃんは、お嬢の産婆さん」と、隣村に住む産婆さんをま



石破地方創生担当大臣より「今こそ“地方創生”」の講演を聞く

るで自分お抱えのお医者さんであるように思っていた。

今お産は産科病院が常識、助産師さんも看護師さんも、至れり尽くせり…

でも、思うのです。

新聞で報道される母子にかかるいたわしい事件の如何に多いことか。

昔、家でのお産に立ちあった産婆さんは、その後毎日通ってきて母子のお世話をしてくださいました。そして、いろいろの不安を家族中が納得できるように取り持ってくださいました。その後の健康管理も大きくなるまで相談役となり…いわゆる「私の産婆さん」…として身近で励ましてくださっていた。

…うれしいことがあると、学校の帰りにその産婆さんに報告にも行った、皆が「わたしの産婆さん」と同様に頼っていたように思い出す。

今、産院では、母子それぞれに懇切丁寧ではあるけれど、困難、不安をどう乗り越えていくか、赤ちゃんを迎えてどう家事をやりくりするのか、泣き声の中で家族が冷静に対応できるか、

不安不安の家庭での現実には、目の届かないところもある。お家に帰った母子を誰がサポートするのだろう…おばあちゃんの話が素直に聞けるか、母一人が落ち込んで…になりはしないか、助産師さんは昔の産婆さんのような働きも必要ではないのか、家庭に出向く…そんなやさしさが見直されるべきでないかな…と思う。家庭での子育て支援の充実を願いたい。



西村久子事務所

彦根市甲崎町19-1 (稲枝北駐在所より西へ約100m 南側道路沿い)
定例政調会 第1金曜日 午後7時~10時

ご意見を
お聞かせください。 Tel 0749-43-2020 Fax 0749-43-4700

西村久子ホームページ (ブログ)

西村久子 活動日記

<http://nishimura-hisako.net>

